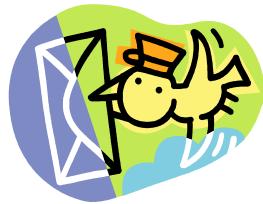


コラム～安全だより～



●令和3年7月（通算第103号）

庭や公園、学校の校庭などによく植えられているツバキやサザンカの木の葉に、虫に食われた痕を見つけたら、チャドクガが食べた痕跡。毒をもっているので要注意です。

発行：

公益財団法人東京しごと財団
(東京都シルバー人材センター連合)

チャドクガ（茶毒蛾）にご用心

チャドクガ（茶毒蛾）は、**卵**→**幼虫（毛虫）**→**蛹**→**成虫（ガ）**、どの段階でも毒性を持っています。

そのほか、孵化した後の卵の殻、脱皮後の抜け殻にも毒性の毛がついていることもあります。

そのため、4月～10月まで、チャドクガに注意する時期が続きます。



発生時期

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 卵 | | | | | | | | | | | | |
| 幼虫（毛虫） | | | | | | | | | | | | |
| 成虫（ガ） | | | | | | | | | | | | |



発生する場所

ツバキ、サザンカ、ヒメシャラ、お茶の木、ビワの木等



気を付けること

□ 一番強力な毒をもっているのは、幼虫（毛虫）の時期です

- ・ 背中の黒い模様に生える、目に見えないほど小さな毛が、毒性を持つ針（毒針毛）です
- ・ 毒針毛は、抜けやすく、小さなトゲが付いているので、一度皮膚に付くと抜けにくい
- ・ 幼虫は、葉のうらに「密集・密接」して身を寄せ合い、集団行動をします
- ・ 幼虫は、音や振動などの外からの刺激に反応して、ゆらゆらと威嚇のような行動をするときに、毒針毛が風にのって空気中に広がり、肌に刺さることがあります

□ 卵だから安心、毛虫でないから安心、ではありません

- ・ 成虫も毒針毛をもち、産卵するときに成虫の毒針毛が付着するので卵も危険です
- ・ 幼虫（毛虫）の死骸のかたまり＝毒のかたまりです
- ・ 孵化した後の卵の殻、脱皮した抜け殻にも、毒針毛は付着しています



卵、幼虫、成虫、死骸、抜け殻をとわず、直接手で触る・肌で触れることは、絶対に避けましょう



抜け殻等を片付けるときは、スプレーのりで固めると手っ取り早い



触れてしまったら

□ どんな症状が現れるか

- ・ 1～2時間ほどすると、痒み、赤い発疹が出る
- ・ 時間がたつほどに、痒みと痛みが激しくなる



手でこする、搔く、なでる（毒針は折れやすく、患部を広げてしまうので、症状が悪化する）

□ 応急処置

- ・ 刺された箇所に粘着テープを貼り付けて、毛を取り除く (ゴム手袋をして)
- ・ 強い流水で、患部を洗い、毒針毛を洗い流す (ゴシゴシと皮膚を擦ってはいけない)
- ・ 着ていた衣服は、
①粘着テープで毛をとる ②50°C以上のお湯で洗う ③スチームアイロンをかける



着ていた衣服を、そのまま洗濯機で洗うこと（毒針毛が他の衣服に移ってしまう）